

県民の日

バスツアーで楽しむ

6月15日の「県民の日」、町で企画されたバスツアーに参加させていただきました。

テーマは「伊藤左千夫の生涯」。車中では、参加者の代表から左千夫についてのお話しがあり、大変勉強になりました。

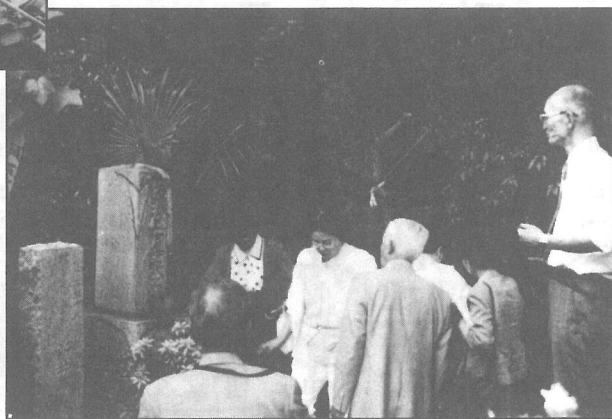
最初の見学地は、市川市国府台の里見公園。里見氏の居城の跡で園内にある紫烟草舎に、詩人北原白秋を偲び、つづいて西蓮寺を訪ねました。左千夫の小説「野菊の墓」の文学碑を見学、碑は弟子の土屋文明によって建てられたもので、車中での話しを思い浮かべ、師弟の絆の深さに胸をうちました。

さらに、ここから歩いて矢切りの渡しへとまいりました。広々とした田園の緑の中、江戸川は満々と水をたたえ、ゆつくりと流れていました。今ではもう昔、小説の主人公政夫と民子の純愛物語が想像されます。わずか10分足らずの

左千夫ゆかりの地へ

江嶋恒夫(上町)

それぞれが左千夫に思いをいだいて



船上で明治に思いを馳せ、寅さん映画で有名な東京葛飾の地へ。帝釈天では、彫刻や庭園のすばらしさを鑑賞し、つづいて亀戸天神。季節はずれの藤棚を眺めながら、太鼓橋を渡り、しばし散策。

そして、すぐ近くにある普門院に足を運ぶと、そこには左千夫の墓がありました。あの関東大震災そして東京の空襲など、文字通り風雨にさらされ、あるいは倒壊、しかし、左千夫は私たちの胸に永遠に生きている。郷土の歌人伊藤左千夫の墓に詣でる人は多い。多くの感慨を胸に、帰路につきました。終りに、この企画を担当しご案内をしてくださった町当局に感謝します。

よみがえつた

砂浜

海のシーズンを迎えて、7月8日朝から、婦人会・漁港関係者・民宿組合や地元の人たちの協力で、屋形海岸の清掃を行いました。約200人が参加し、ごみを集めたり、草刈りをしたり、汚れていた海岸もきれいになりました。

空きカンや空きビンがたくさん回収され、テレビや紙おむつの出現にあきれるばかり。一人ひとりが正しいマナー



夏本番を待ち、準備OK

横芝郵便局長に 岩澤 勲さん



6月23日付で、横芝郵便局長が岩澤勲さんに替わりました。みなさんに親しまれる郵便局づくりを意識をもちやっています。